

JR東海労ニュース

一方的な休日出勤反対！

闘争シリーズ No.35

No. 783 2006年1月20日

JR東海労働組合

御殿場駅ポイント割り出し事故の責任は、 現車訓練を実施しなかった会社にある！ 静岡支社、労使確認事項を反故

昨年11月28日、御殿場線・御殿場駅構内で、入換中の列車がポイントを割り出し、本線に進入する事故が発生しました。単線のため、反対列車と正面衝突する危険性をはらんだ重大事故です。

11月21日より約3ヶ月間、工事の関係で一部の入換信号機を使用停止にし、一部の区間を車掌誘導による入換作業が臨時で行われました。静岡支社は車掌の誘導訓練を「現地で現車訓練を行う」と静岡地本に説明し、労使共に確認しました。

ところが、車掌の訓練は現地で行われず、机上のみの説明で終わったのです。静岡地本は静岡支社に申し入れを行い、その会社回答は「もともと、現車訓練は計画になかった」「主管部と労働担当の認識不足だった」という釈明です。これが会社の安全姿勢の現実なのです。

車掌は、線路図という紙切れ1枚を頼りに、ぶっつけ本番で不安を抱きながら作業を行いました。どこに入換信号機や標識が建植されているか、当日の作業で初めて見て知るのです。事故の当事者である運転士はまだ「日勤教育」をされ、車掌は強制配転が決定されました。

本部は、労使で確認されたことを反故にし、事故の責任を乗務員に押しつける会社を許さないために、申し入れ(闘申第34号)を行いました。

安全軽視を許さないぞ！
本社に抗議の申し入れ！

主な申し入れ項目

静岡支社と静岡地本での確認事項が反故にされたことに関して、本社の見解を明らかにすること。
現地での訓練計画を立てなかった理由を明らかにすること。

「認識不足」との釈明について、それぞれの部署の打合せや報告のやりとりなど、事実関係を明らかにすること。

「日勤教育」中の運転士・車掌を早期に乗務復帰せよ。